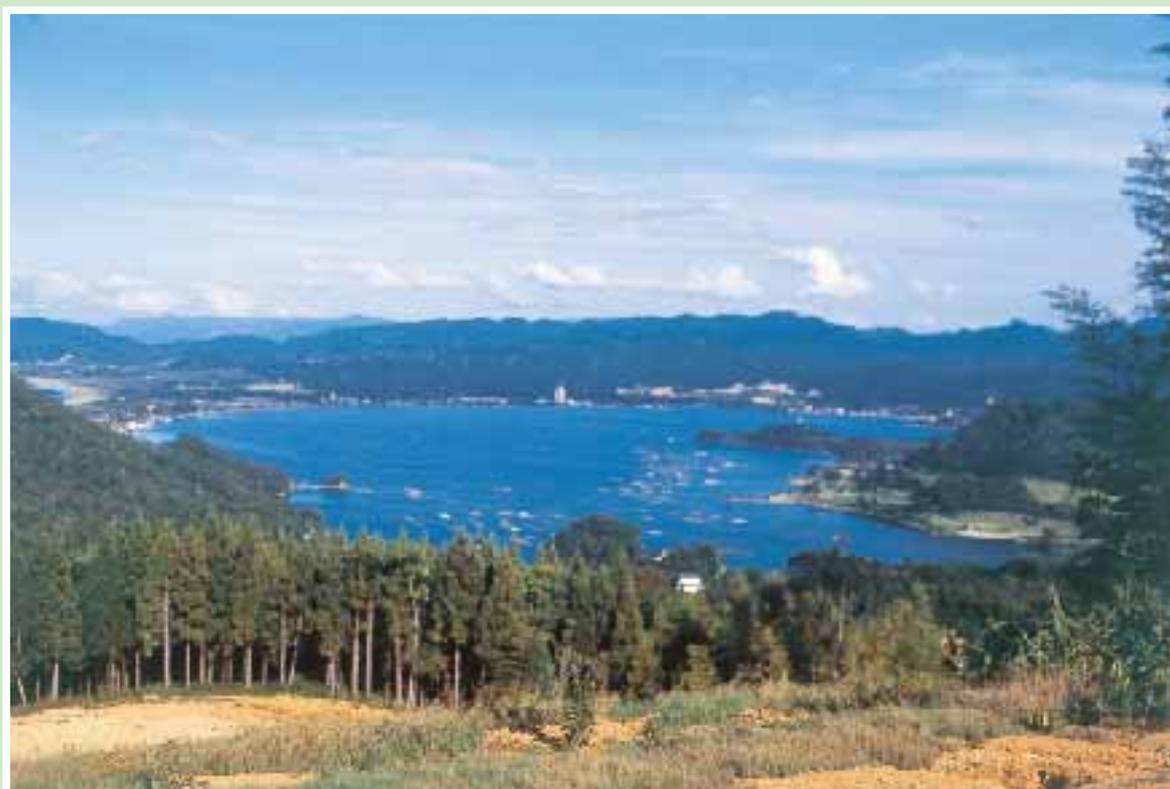


久美浜町「山内」付近の植物

(京都府久美浜町植物調査報告第2集)



京丹後市教育委員会

2004

久美浜町「山内」付近の植物

(京都府久美浜町植物調査報告第2集)

発刊にあたって

『ひと、みず、みどり、歴史と文化が織りなす交流のまち』を市の将来像に掲げ、本年4月1日に「京丹後市」が誕生しました。

この京丹後市は、史跡・名勝・天然記念物や考古資料等の有形文化財をはじめ、芸能・工芸技術などの無形文化財にいたるまで、まさしく文化財の宝庫です。新市に引き継がれた国指定、府指定、市指定さらには登録文化財を合わせると156件に上りますが、枚挙にいとまがないほど市内におびただしく存在する古代遺跡は、本市の重要な歴史的文化的位置を雄弁に物語っています。

ところで、本市の合併直後の去る6月15日に、元久美浜町教育委員会教育長の西山茂雄氏が急逝されました。同氏は殊のほか植物学に造詣が深く、植物分類学会における世界的な権威者である村田源先生を直接の師とされていたことは多くの人の知るところですが、急逝された同氏を偲ぶ集まりのなかで、同氏が平成8年に発刊された『久美浜海岸砂丘の植物』（京都府久美浜町植物調査報告第1集）が話題にのぼりました。丹後地方では、いわゆる「38豪雪」と言われた未曾有の寒波をきっかけとして、各地で山村からの離村が進み、その中で久美浜町山内地区もついに廃村となりましたが、同氏たちが中心となって実施された久美浜町山内地区植物調査の結果が『久美浜町「山内」付近の植物』としてまとめられ、すでに原稿も出来上がっていることが判明しました。そして幸いなことに、関係者のご努力により、同氏が準備された出版直前状態の原稿を入手していただくことができました。

以上のように、この原稿は古い歴史を持ちながら昭和43年に廃村となった久美浜町山内集落を中心とした植物分布調査報告書であり、たいへん貴重なものであることからなんとしても完成させたいと考え、故人のご冥福をお祈りするとともに、関係者のご労苦に心から敬意と感謝を申し上げつつ、ここに発刊することにした次第です。

ここに上梓することになった資料を、こよなく花を愛し、人間を愛し、命ある物すべてを慈しまれた故西山茂雄氏に捧げます。本書が植物研究者をはじめ、広く市民のみなさまのお役に立つことを願っています。

平成16年10月15日

京丹後市長

中 山

泰

は し が き

久美浜町は古くから開け、他の地域との交流の中で栄えてきました。

また、そのために多くの歴史上の著名人も訪れています。

今回調査を行った山内地区さんないにつきましても、奈良時代の名僧、行基が開山した寺院が移転して発展していった、という伝承が残されています。

往時には多くの寺院が築かれ、さらには文化が生まれ、育まれていきました。

久美浜湾を見下ろすこの地に立ちますと、そういった過去の様子が想像され、時間のたつのも忘れてしまいます。また、その静寂さ、豊かな自然環境にも驚かされます。そして自然とともに暮らし、文化を発展させていった先人の心にも打たれます。

久美浜町では、この豊かな自然環境を生かしながら地域の発展を目標に山内地区さんないの開発事業を計画いたしました。開発にあたっては自然環境の保護を最優先とし、山の神秘的な雰囲気に入り、静寂さを満喫できる空間の提供を心掛けました。そのため、京都府御当局と京都府教育委員会の御指導、さらに京都府植物相研究会（村田代表）の御協力を得まして、調査を実施しました。

今回行いました植物調査は今後の計画に生かされるのはもちろんですが、いずれ山内を訪れる皆様の自然観察のお供にも使用できると思います。

現在でも神秘かつ荘厳な雰囲気さんないを残す「山内」。本書が多くの方の目にとまり、久美浜町を訪れていただくことを願っています。

最後になりましたが、調査に御協力いただきました植物標本館ボランティアの方々・各機関並びに町内有志の皆様の御協力に感謝し、結びの言葉とさせていただきます。

平成9年3月

久美浜町長
町立植物標本館長

片 山 茂

序

久美浜町は、京都府の西北端に位置し、西と南は兵庫県に境し、北は日本海に面した町で、北側を除きまわりは山に囲まれ、気候は「北陸・山陰型気候」に分類される。対馬暖流の影響を受けて比較的温暖であるが、年間降水量は平年で2000mm以上と多く、冬期には1m近くの積雪がある。

人口は昭和22年の19,090人を最高に減少の一途をたどり、現在12,600人である。当町を含む丹後地域は「ちりめん」や「帯地」の産地として有名であるが、隆盛を誇った機業はたも時代と共に衰退してきており、廃業に追い込まれる状況も生じている。

交通条件は豊岡市から網野町へ通じる178号線と、峰山町へ通じる312号線の幹線道路があり、又、482号線は「たんたんトンネル」の開通により、但東町を経て京阪神へ近づいてきた。鉄道は「北近畿タンゴ鉄道」が町内を縦断している。

今回調査を行った「山内地区」さんないは、町の北西部、兵庫県との県境に面して所在していた集落である。この地区は大正10年頃戸数12戸、人口58人とあるが、昭和38年豪雪もあつたりして、昭和43年遂に廃村となった。昔は多くの寺院が存在し、伝承によると、天平2年(730)、名僧行基が全国行脚の途中、現在の但馬と丹後の境「ハチガナル」にさしかかったところ、山中の巨木が「衆生摂取不捨」と唱えるのを聞き、その木で阿弥陀如来像を刻み、現地に寺を建立したのが始まりと伝えられている。この奥深い山中の多くの寺院は、修業や鍛錬に絶好の環境であったと思われるが、しかし、仁治2年(1241)頃には寺院が荒廃したこともあり、「ハチガナル」より一番近い集落「山内」さんないに移されたと伝えられている。当時の「山内」は熊野郡(久美浜町)から但馬への日本海側へ通じる交易ルートにあたり、信仰の中心地として、記録によると足利時代末期頃の賑わいは大変なものであった様である。

この古い歴史をもつ「山内地区」が近年になって予想もしないことで脚光を浴びることになる。それは、この「山内」の村が昭和35年頃離村しないで居残っていた4戸の住民が、同地区に電灯を引く資金を捻出するため山内嶽の「チンジュ(鎮守)ガナル」という所にお祀りしてあった34～35cmの小さな金銅製仏像を売却したことにはじまる。この仏像があちこち古美術商・研究家の手を経て平安期の「蔵王権現像」ざおうごんげんと鑑定され、現在はニューヨーク・メトロポリタン美術館アジア芸術部門の「最も貴重な展示品」(バーバラ・B・フォード副館長より、当教育委員会への礼状 February 11, 1993による)として真正面に安置されているのである。

当久美浜町では、この様な誇り得る歴史と、素晴らしい景観と、豊かな自然を残す「山

内地区」の環境を維持しつつ、町民憩いの広場、又地域活性の拠点として整備活用する計画である。

この報告書『久美浜町「^{さんない}山内」付近の植物』は、これらの自然と歴史文化遺産を大切にしながら、その方策実現へ向けての基礎資料の一つとするために、我国の植物分類・地理学者として定評のある村田源先生（京都府自然環境保全審議会委員）に調査をお願いした。

本調査書が好評の第1集『久美浜海岸砂丘の植物』につづき、久美浜町の今後の在り方に有益な示唆を与えると共に、全国の研究者・教育者・同好の士の一助となれば誠に幸いである。

平成9年3月

久美浜町教育委員会 教育長
町立植物標本館

西 山 茂 雄

『久美浜町「山内」付近の植物』調査委員会名簿

(敬称略)

委員長
久美浜町長/町立植物標本館長

片山 茂

町立植物標本館
ボランティア

瀬戸 絳乃

調査担当者
京都植物相研究会(代表者)

村田 源

辻 百合子

西澤 信一

安達 綾子

高木 俊夫

野村 文

津軽 俊介

大垣 可枝

田中 徹

谷 正美

西山 茂雄

安達 きわ

富川 惇志

小幡 きく乃

調査協力者

高橋 隆

岡本 好枝

調査補助者

甲斐 真弓

事務局長
久美浜町教育委員会教育長

西山 茂雄

目 次

| | | | |
|---------|---------------|----|----|
| 発刊にあたって | 京丹後市長 | 中山 | 泰 |
| はしがき | 久美浜町長 | 片山 | 茂 |
| 序 | 久美浜町教育委員会 教育長 | 西山 | 茂雄 |

「久美浜町山内付近の植物」調査委員会名簿

| | |
|-------------------|-------|
| はじめに | 1 |
| 植物相の概要 | 1 |
| 山内付近の植物目録 | 1 |
| シダ植物 Pteridophyta | 1 |
| 裸子植物 Gymnospermae | 3 |
| 被子植物 Angiospermae | 3 |
| 環境と共に保護に留意すべき植物 | 12 |
| 造成地周辺の緑化について | 13 |
| 地学調査の提言 | 13 |
| おわりに | 13 |
| 図 1 ~ 13 | 14~22 |
| 文 献 | 23 |
| あとがき | 24 |
| 属名(学名)索引 | 25~27 |
| 和名索引 | 28~32 |

◆表紙写真の説明◆

山内より見下ろした久美浜湾 (1995. 9. 21. 村田 源撮影)

はじめに

小天橋から箱石にかけて広がっている砂丘の海岸植生の調査に続いて、現在町が造成工事を行っている山内付近の植物調査を京都府植物相研究会で行うことになった。

ここは久美浜湾の西、河内より兵庫県境に向かって西北に数百m行ったところで、かつて山内という小集落のあった処である。現在では完全に廃村となり、一軒の人家も残っていない。標高は約100~200mの所で、兵庫県との境界となっている山稜の頂部分は約300m（最高部が334.5m）、少し南の鞍部が約100mの三原峠である。調査は1994年~1995年度に実施した。

植物相の概要

該当地域はかつて集落のあった跡地で、特に保護すべき自然度の高い植生は認められなかった。

大部分はアカマツの優占する二次林となっていて、一部にスギ、ヒノキの植林地がある。

山腹斜面には主としてヒノキが植林され、谷ぞいや廃棄した水田跡にスギが植えられている。いずれも戦後植林されたもので、推定30~40年生と思われる若木であるが、手入れが十分なされていないので成長は良くない。

場所によっては廃棄された竹林があり、ヤブニッケイ、ツバキ、シロダモ、タブノキ、アラカシ、シイ（主としてスダジイ）などの常緑樹の若木が伸びつつある。

調査中目についた比較的個体数の少ない植物や、但馬・丹後地方に分布が限られている珍しい植物、例えばヒロハハナヤスリ、タジマタムラソウ、スハマソウ、シュロソウ、ツクバネソウなどがあり、かつて神社があったという所にはスダジイの大木がある。これらは後述するように大切に環境と共に保護し、造成地の裏山全体を自然公園的に利用

することが望ましい。

山内付近の植物目録

今回の調査で確認した植物の目録である。範囲は河内から山内の造成地に至る道ぞいと、山内旧集落跡付近で、特に地域を限定したわけでもなく、また単に調査を行ったわずか2年間の数回にわたる調査で目にとまった植物だけで、まだかなり追加すべき種が見付かる可能性がある。

科の配列はシダ植物、裸子植物、被子植物（双子葉類、単子葉類）と分類系順に配列した。シダ植物は Tagawa, T. and Iwatsuki, K. 1972. Families and genera of the Pteridophytes known from Thailand. Mem. Fac. Soc. Kyoto Univ. Ser. Biol. 5 : 67~88.

裸子植物は Pilger, R. and Melchior, H. 1954. Gymnospermae in Melchior, H. and Werdermann, E., A Engler's Syllabus der Pflanzenfamilien 12. Auglage. Bd. 1 : 312-344.

種子植物は Melchior, H. 1964. A Engler's Syllabus der Pflanzenfamilien 12. Auglage. Bd. 2 によった（環境庁自然保護局編：自然環境保全基礎調査植物目録修正版1994と同じ）。

科の中には属名のアルファベット順に配列した。和名の後にある数字は採集した標本番号である。

Pteridophyta シダ植物

• Selaginellaceae イワヒバ科 •

Selaginella remotifolia Spr. クラマゴケ

• Equisetaceae トクサ科 •

Equisetum arvense L. スギナ

• Ophioglossaceae ハナヤスリ科 •

Ophioglossum vulgatum L. ヒロハハナヤスリ
19901, 21825

• Osmundaceae ゼンマイ科 •

Osmunda japonica Thunb. ゼンマイ

• Gleicheniaceae ウラジロ科 •

Gleichenia japonica Spr. ウラジロ

• Dennstaedtiaceae コバノイシカグマ科 •

Dennstaedtia hirsuta (Sw.) Mett. イヌシダ

Microlepia marginata (Penzer) C. Chr.
フモトシダ

Pteridium aquilinum var. latiusculum (Desv.)
Underw. ex Hell ウラビ

• Parkeriaceae ミズウラビ科 •

Coniogramme intermedia Hieron.
イワガネゼンマイ

Onychium japonicum (Thunb.) Kunze
タチシノブ

• Pteridaceae イノモトソウ科 •

Pteris excelsa Gaud.
オオバノハチジョウシダ

• Blechnaceae シシガシラ科 •

Struthiopteris nipponica (Kunth) Nakai
シシガシラ

• Dryopteridaceae オシダ科 •

Arachniodes standishii (Moore) Ohwi

リョウメンシダ 21077

Cyrtomium fortunei J. Sm.
ヤブソテツ 22260

Dryopteris erythrosora (Eat.) O. Ktze.
ベニシダ 21073

D. bissetiana (Bak.) C. Chr. ヤマイタチシダ
Polystichum polyblepharum (Roem. ex Kuntze)
Presl. イノデ 19900

P. retroso-paleaceum (Kodama) Tagawa
サカゲイノデ

P. tripterum (Kunze) Presl
ジュウモンジシダ 21078

• Thelypteridaceae ヒメシダ科 •

Stegogramma pozoi ssp. mollissima (Fisch.)
Ching. ミゾシダ

Thelypteris torresiana var. calvata (Bak.) K.
Iwats. ヒメウラビ 21080

• Woodsiaceae メシダ科 •

Athyrium clivicola Tagawa
カラクサイヌウラビ

A. iseanum Rosenst.
ホソバイヌウラビ 21074

A. nipponicum (Mett.) Hance イヌウラビ

A. otophorum (Miq.) Koidz. タニイヌウラビ
21075, 21076, 22711, 21826

A. sheareri (Bak.) Ching
ウラボシノコギリシダ 21079

A. vidalii (Fr. et Sav.) Nakai
ヤマイヌウラビ

A. wardii (Hook.) Makino ヒロハイヌウラビ

A. yokoscense (Fr. et Sav.) Christ
ヘビノネゴサ

Diplazium mettenianum (Miq.) C. Chr.
ミヤマノコギリシダ

Onoclea orientalis (Hook.) Hook.

イヌガンソク

• Polypodiaceae ウラボシ科 •

Lemmaphyllum microphyllum Presl マメツタ

Lepisorus thunbergianus (Kaulf.) Ching

ノキシノブ

Gymnospermae 裸子植物

• Pinaceae マツ科 •

Abies firma Sieb. et Zucc.

(胸高直径78cm) モミ 21083

Pinus densiflora Sieb. et Zucc. アカマツ

• Taxodiaceae スギ科 •

Cryptomeria japonica (L.f.) D. Don

(植栽) スギ

• Cupressaceae ヒノキ科 •

Chamaecyparis obtusa (Sieb. et Zucc.) Endl.

(植栽) ヒノキ

• Cephalotaxaceae イヌガヤ科 •

Cephalotaxus harringtonia var. *nana* (Nakai)

Rehd. ハイイヌガヤ

• Taxaceae イチイ科 •

Torreya nucifera var. *radicans* Nakai

チャボガヤ

Angiospermae 被子植物
(Dicotyledoneae 双子葉植物)

• Myricaceae ヤマモモ科 •

Myrica rubra Sieb. et Zucc. ヤマモモ

• Salicaceae ヤナギ科 •

Salix alopochroa Kimura

サイコクキツネヤナギ

• Betulaceae カバノキ科 •

Alnus japonica (Thunb.) Steud. ハンノキ

A. pendula Matsumura ヒメヤシャブシ

Carpinus japonica Bl. クマシデ

C. laxiflora (Sieb. et Zucc.) Bl. アカシデ

C. tschonoskii Maxim. イヌシデ 19897

• Fagaceae ブナ科 •

Castanea crenata Sieb. et Zucc. クリ

Castanopsis cuspidata var. *sieboldii* (Makino)

Nakai スダジイ 21084

Quercus aliena Bl. ナラガシワ

Q. glauca Thunb. アラカシ

Q. mongolica ssp. *crispula* (Bl.) Ohashi

ミズナラ

Q. salicina Bl. ウラジロガシ

Q. serrata Murray コナラ

Q. variabilis Bl. アベマキ

• Urmaceae ニレ科 •

Celtis sinensis Pers. エノキ

Zelkova serrata (Thunb.) Makino ケヤキ

• Moraceae クワ科 •

Broussonetia kazinoki Sieb.

ヒメコウゾ 21805

Ficus oxyphylla Fr. et Sav. イタビカズラ

Morus australis Poir. ヤマグワ

• Urticaceae イラクサ科 •

Boehmeria nivea ssp. *nipponivea* (Koidz.)

Kitam. クサマオ、カラムシ

B. platanifolia Fr. et Sav. メヤブマオ

Elatostema japonicum var. *majus* (Maxim.)

H. Nakai et Ohashi ウワバミソウ 21816

Pilea mongolica Wedd. アオミズ 21061

• Polygonaceae タデ科 •

Antenoron filiforme (Thunb.) Roberty et

Vautier ミズヒキ

Persicaria lapathifolia (L.) S. F. Gray

オオイヌタデ 21064

P. longiseta (De Bruyn) Kitagawa

イヌタデ 21067

P. yokusaiana (Makino) Nakai

ハナタデ 21065, 21066

P. pubescens (Bl.) Hara ポントクタデ

P. thunbergii (Sieb. et Zucc.) H. Gross.

ミゾソバ 22700

Reynoutria japonica Houtt. イタドリ

Rumex acetosa L. スイバ

R. obtusifolia L. エゾノギシギシ

• Phytolaccaceae ヤマゴボウ科 •

Phytolacca esculenta Van Houtte

ヤマゴボウ 22697

• Caryophyllaceae ナデシコ科 •

Stellaria aquatica (L.) Scop. ウシハコベ

S. media (L.) Villars コハコベ

• Amaranthaceae ヒコ科 •

Achyranthes bidentata var. *japonica* Miq.

イノコヅチ

• Magnoliaceae モクレン科 •

Magnolia ovobata Thunb.

ホオノキ

• Schisandraceae マツブサ科 •

Kadsura japonica (L.) Dunal サネカズラ

Schisandra repanda (Sieb. et Zucc.) Radlk.

マツブサ

• Illiciaceae シキミ科 •

Illicium anisatum L.

シキミ 21829

• Lauraceae クスノキ科 •

Cinnamomum insularimontanum Hayata

ヤブニッケイ

Lindera glauca (Sieb. et Zucc.) Bl.

ヤマコウバシ

L. umbellata Thunb. クロモジ 21085

Machilus japonica Sieb. et Zucc. ホソバタブ

M. thunbergii Sieb. et Zucc.

タブノキ 19896

Neolitsea sericea (Bl.) Koidz.

シロダモ

• Ranunculaceae キンポウゲ科 •

Cimicifuga japonica (Thunb.) Sprengel

イヌショウマ 21070

Clematis apiifolia DC.

ボタンヅル

C. terniflora DC.

センニンソウ

Coptis japonica var. *dissecta* (Yatabe) Nakai

セリバオウレン 21811

Hepatica nobilis Schreber

ミスミノウ 19892, 21810
Ranunculus silerifolius Lev. キツネノボタン
Thalictrum minus var. hypolaucum (Sieb. et
Zucc.) Miq. アキカラマツ 21069

• Berberidaceae メギ科 •

Epimedium sempervirens Nakai
トキワイカリソウ

• Lardizabalaceae アケビ科 •

Akebia quinata (Thunb.) Decne. アケビ
A. trifoliata (Thunb.) Koidz. ミツバアケビ
Stauntonia hexaphylla (Thunb.) Decne. ムベ

• Menispermaceae ツズラフジ科 •

Cocculus orbiculatus (L.) DC.
アオツズラフジ 21068

• Saururaceae ドクダミ科 •

Houttuynia cordata Thunb. ドクダミ
Saururus chinensis (Lour.) Baill.
ハンゲシヨウ

• Aristolochiaceae ウマノスズクサ科 •

Heterotropa kooyana var. rigescens (F. Maekawa)
F. Maekawa アツミカンアオイ 19890

• Actinidiaceae マタタビ科 •

Actinidia arguta (Sieb. et Zucc.) Planch. ex
Miq. サルナシ

• Theaceae ツバキ科 •

Camellia japonica L. ツバキ
C. sinensis (L.) O. Kuntze チャ

Eurya japonica Thunb. ヒサカキ

• Droseraceae モウセンゴケ科 •

Drosera rotundifolia, L. モウセンゴケ

• Saxifragaceae ユキノシタ科 •

Astilbe thunbergii (Sieb. et Zucc.) Miq.
アカシヨウマ
var. congesta Boiss. トリアシシヨウマ
Deutzia crenata Sieb. et Zucc. ウツギ
Hydrangea macrophylla (Thunb.) Ser.
ssp. serrata (Thunb.) Makino ヤマアジサイ
ssp. yezoensis (Koidz.) Kitamura
エゾアジサイ
Schizophragma hydrangeoides Sieb. et Zucc.
イワガラミ

• Rosaceae バラ科 •

Agrimonia pilosa var. japonica (Miq.) Nakai
キンミズヒキ
A. nipponica Koidz.
ヒメキンミズヒキ 21062
Duchesnea indica (Andr.) Focke
ヤブヘビイチゴ
Geum japonicum Thunb. ダイコンソウ
Pourthiaea villosa var. laevis (Thunb.)
Stapf. カマツカ
Prunus grayana Maxim. ウワミズザクラ
P. incisa ssp. kinkiensis (Koidz.) Kitamura
キンキマメザクラ
P. verecunda (Koidz.) Koehne カスミザクラ
Rosa luciae var. paniculigera (Koidz.) Momi-
yama ミヤコイバラ
Rubus buergeri Miq. フユイチゴ
R. hakonensis Fr. et Sav. ミヤマフユイチゴ
R. hirsutus Thunb. クサイチゴ

R. microphyllus L. f. ニガイチゴ カラスザンショウ 21082
 R. palmatus Thunb. ナガバモミジイチゴ Z. schinifolium Sieb. et Zucc.
 Sorbus alnifolia (Sieb. et Zucc.) C. Koch イヌザンショウ
 アズキナシ

S. americana ssp. japonica (Miq.) Kitamura
 ナナカマド
 S. japonica (Decne.) Hedl. ウラジロノキ

• Leguminosae マメ科 •

Albizia julibrissin Durazz. ネムノキ
 Apios fortunei Maxim. ホドイモ
 Dumasia truncata Sieb. et Zucc. ノササゲ
 Kummerovia striata (Thunb.) Schindler
 ヤハズソウ
 Lespedeza homoloba Nakai ツクシハギ 21063
 Maackia floribunda (Willd.) DC.
 ハネミイヌエンジュ

Pueraria lobata (Willd.) Ohwi クズ 21815
 Wisteria floribunda (Willd.) DC. フジ 19895

• Oxalidaceae カタバミ科 •

Oxalis corniculatum L. カタバミ
 O. griffithii Edgew. et Hook. f.
 ミヤマカタバミ

• Euphorbiaceae トウダイグサ科 •

Aleurites cordata (Thunb.) R. Br. ex Steud.
 アブラギリ
 Mallotus japonicus (Thunb. ex Murray) Muell.-
 Arg. アカメガシワ

• Rutaceae ミカン科 •

Skimmia japonica Thunb.
 ミヤマシキミ 21086
 Zanthoxylum ailanthoides Sieb. et Zucc.

• Simaroubaceae ニガキ科 •

Picrasma quassioides (D. Don) Benn. ニガキ

• Anacardiaceae ウルシ科 •

Rhus ambigua Lavall, ex Dippel ツタウルシ
 R. javanica var. roxburgii (DC.) Rehder
 ヌルデ
 R. succedanea L. ハゼノキ
 R. sylvestris Sieb. et Zucc. ヤマハゼ
 R. trichocarpa Miq. ヤマウルシ

• Aceraceae カエデ科 •

Acer crataegifolia Sieb. et Zucc. ウリカエデ
 A. japonicum Thunb. ハウチワカエデ
 A. palmatum Thunb. イロハモミジ
 var. amoenum (Carr.) Ohwi オオモミジ
 A. rufrinerve Sieb. et Zucc. ウリハダカエデ
 A. sieboldianum Miq. コハウチワカエデ

• Sabiaceae アワブキ科 •

Meliosma myriantha Sieb. et Zucc. アワブキ

• Aquifoliaceae モチノキ科 •

Ilex crenata Thunb. イヌツゲ
 I. integra Thunb.モチノキ
 I. pedunculosa Miq. ソヨゴ

• Celastraceae ニシキギ科 •

Euonymus alatus f. ciliato-dentatus (Fr. et
 Sav.) Hiyama コマユミ

• Staphyleaceae ミツバウツギ科 •

Euscaphis japonica (Thunb.) Kanitz ゴンズイ

• Rhamnaceae クロウメモドキ科 •

Hovenia tomentella (Makino) Makino
ケケンポナシ

• Vitaceae ブドウ科 •

Ampelopsis glandulosa var. *heterophylla*
(Thunb.) Momiyama ノブドウ
Parthenocissus tricuspidata (Sieb. et Zucc.)
Planch. ツタ
Vitis saccharifera Makino オトコブドウ

• Thymelaeaceae ジンチョウゲ科 •

Edgeworthia chrysantha Lindl.
ミツマタ 19898 (かつて栽培された残りか?)

• Elaeagnaceae グミ科 •

Elaeagnus glabra Thunb. ツルグミ
E. pungens Thunb. ナワシログミ
E. × reflexa Morr. et Decne.
ウラギンツルグミ

• Violaceae スミレ科 •

Viola grypoceras A. Gray
タチツボスミレ 19889
V. kusanoana Makino
オオタチツボミスミレ 21814
V. rostrata var. *japonica* (W. Becker et H.
Boiss.) Ohwi ナガハシスミレ 19888
V. vaginata Maxim.
スミレサイシン 21812, 21813
V. verecunda A. Gray ツボスミレ

• Stachyuraceae キブシ科 •

Stachyurus praecox Sieb. et Zucc. キブシ

• Cucurbitaceae ウリ科 •

Gynostemma pentaphyllum (Thunb.) Makino
アマチャヅル
Melothria japonica (Thunb.) Maxim. ex Cogn.
スズメウリ
Trichosanthes kirilowii var. *japonica* (Miq.)
Kitamura キカラスウリ 22699

• Onagraceae アカバナ科 •

Circaea mollis Sieb. et Zucc.
ミズタマソウ 22705

• Cornaceae ミズキ科 •

Aucuba japonica Thunb. アオキ 21081
var. *borealis* Miyake et Kudo ヒメアオキ
Cornus macrophylla C. A. Mey.
クマノミズキ
Herwingia japonica Thunb.
ハナイカダ 21806

• Araliaceae ウコギ科 •

Acanthopanax sciadophylloides Franch.
コシアブラ
Aralia cordata Thunb. ウド
A. elata (Miq.) Seemann タラノキ
var. *subinermis* (Fr. et Sav.) Nakai
メダラ
Dendropanax trifidus (Thunb.) Makino
(第4図) カクレミノ 19899
Evodiopanax innovans (Sieb. et Zucc.) Nakai
タカノツメ
Hedera rhombea (Miq.) Bean キツタ

• Umbelliferae セリ科 •

Cryptotaenia japonica Hassk. ミツバ
Hydrocotyle ramiflora Maxim. オオチドメ
Sanicula chinensis Bunge ウマノミツバ

• Diapensiaceae イワウメ科 •

Schizocodon soldanelloides var. magnus (Makino)
Hara オオイワカガミ

• Clethraceae リョウブ科 •

Clethra barbinervis Sieb. et Zucc.
リョウブ

• Pyrolaceae イチヤクソウ科 •

Monotropastrum humile H. Andr.
(第3図) ギンリョウソウ 19892
Monotrora uniflora L.
アキノギンリョウソウ 21060

• Ericaceae ツツジ科 •

Lyonia ovalifolia var. elliptica (Sieb. et Zucc.) Hara ネジキ
Pieris japonica (Thunb.) D. Don アセビ
Rhododendron lagopus var. nipophilum
(Yamazaki) Yamazaki ユキグニミツバツツジ
R. obtusum var. kaempferi (Planch.) Wilson
ヤマツツジ

• Myrsinaceae ヤブコウジ科 •

Ardisia japonica (Thunb.) Bl. ヤブコウジ

• Primulaceae サクラソウ科 •

Lysimachia clethroides Duby オカトラノオ
L. japonica f. subsessilis (F. Maekawa) Mu-

rata

コナスビ

• Ebenaceae カキノキ科 •

Diospyros kaki var. sylvestris Makino

ヤマガキ

• Styracaceae エゴノキ科 •

Styrax japonica Sieb. et Zucc. エゴノキ

• Gentianaceae リンドウ科 •

Tripterospermum japonicum (Sieb. et Zucc.)
Maxim. ツルリンドウ

• Apocynaceae キョウチクトウ科 •

Trachelospermum asiaticum (Sieb. et Zucc.)
Nakai テイカカズラ

• Rubiaceae アカネ科 •

Galium kikumugura Ohwi キクムグラ
Hedyotis lindleyana var. hirsuta (L. f.)
Hara ハシカグサ
Mitchella undulata Sieb. et Zucc.
ツルアリドオシ
Paederia scandens (L.) Merr. ヘクソカズラ
Rubia argyi (Lev.) Hara アカネ 21055

• Boraginaceae ムラサキ科 •

Omphalodes japonica (Thunb.) Maxim.

ヤマルリソウ 21809

• Verbenaceae クマツヅラ科 •

Callicarpa japonica Thunb. ムラサキシキブ
C. mollis Sieb. et Zucc. ヤブムラサキ
Clerodendrum trichotomum Thunb. クサギ

• Labiatae シソ科 •

- Ajuga decumbens Thunb. キランソウ 19894
Glechoma hederacea var. grandis (A. Gray)
Hara カキドオシ
Mosla dianthera (Hamilt.) Maxim. ヒメジソ
M. hirsuta Hara シラゲヒメジソ 22701
M. punctulata (J. F. Gmel.) Nakai
イヌコウジュ 21059
Perilla frutescens var. citriodora (Makino)
Hara レモンエゴマ 21056
Prunella vulgaris var. asiatica (Nakai) Hara
ウツボグサ
Rabdosia inflexa (Thunb.) Hara
ヤマハッカ 21058
R. longituba (Miq.) Hara アキチヨウジ
R. shikokiana var. occidentalis (Murata) Hara
サンインヒキオコシ
R. trichocarpa (Maxim.) Hara
クロバナヒキオコシ
Salvia omerocalyx Hayata タジマタムラソウ
(15, 16頁参照)
Scutellaria indica L. タツナミソウ
var. parvifolia (Mak.) Makino
コバノタツナミ 21057
Teucrium viscidum var. miquelianum (Maxim.)
Hara ツルニガクサ

• Solanaceae ナス科 •

- Solanum lyratum Thunb. ヒヨドリジョウゴ
Tubocapsicum anomalum (Franch. et Sav.)
Makino ハダカホオズキ

• Scrophulariaceae ゴマノハグサ科 •

- Mazus miquelii Makino サギゴケ
M. pumilus (Burm. f.) v. Steenis
トキワハゼ 22698

- Veronica arvensis L. タチイヌノフグリ
V. persica Poir. オオイヌノフグリ

• Bignoniaceae ノウゼンカズラ科 •

- Paulownia tomentosa (Thunb.) Steud. キリ

• Acanthaceae キツネノマゴ科 •

- Justicia procumbens var. leucantha Honda
キツネノマゴ

• Phrymaceae ハエドクソウ科 •

- Phryma leptostachya ssp. asiatica Hara
ハエドクソウ

• Plantaginaceae オオバコ科 •

- Plantago asiatica L. オオバコ

• Caprifoliaceae スイカズラ科 •

- Lonicera gracilipes Miq.
ヤマウゲイスカグラ 21808
L. japonica Thunb. スイカズラ
Viburnum dilatatum Thunb. ガマズミ
V. erosum Thunb. コバノガマズミ
V. pricatum var. glabrum Hara
ケナシヤブデマリ 21807
V. wrightii Miq. ミヤマガマズミ
Weigela hortensis (Sieb. et Zucc.) K. Koch
タニウツギ

• Valerianaceae オミナエシ科 •

- Patrinia villosa (Thunb.) Juss. オトコエシ
Valeriana flaccidissima Maxim.
ツルカノコソウ 19893

• Campanulaceae キキョウ科 •

Codonopsis lanceolatum (Sieb. et Zucc.) Trautv.
ツルニンジン 22704

• Compositae キク科 •

Artemisia indica var. maximowiczii (Nakai)
Hara ヨモギ
Aster ageratoides var. ovalifolius Kitamura
タマバシロヨメナ 22702
ssp. ovatus (Fr. et Sav.) Kitamura
ノコンギク
A. scaber Thunb. シラヤマギク 21054
Bidens frondosa L. アメリカセンダングサ
Cacalia delphiniifolia Sieb. et Zucc.
モミジガサ 22703
Carpesium glossophyllum Maxim.
サジガンクビソウ
Cirsium kagamontanum Nakai カガノアザミ
C. microspicatum var. kiotense Kitamura
オハラメアザミ 22706
Conyza sumatrensis (Retz.) Walker
オオアレチノギク
Crassocephalum crepidioides (Benth.) S.
Moore ベニバナボロギク
Erechtites hieracifolia (L.) Raf.
ダンドボロギク
Eupatorium chinense var. oppositifolium (Koidz.)
Murata et H. Koyama ヒヨドリバナ
Ixeris dentata f. amplifolia (Kitamura)
Hiyama オオバナニガナ
Lactuca indica L. アキノノゲシ
L. sororia Miq. ムラサキニガナ
Pertya scandens (Thunb.) Sch.-Bip.
コウヤボウキ
Petasites japonicus (Sieb. et Zucc.) Maxim.
フキ

Siegesbeckia orientalis ssp. pubescens (Makino)
Kitamura メナモミ
Synurus palmatopinnatifidus (Makino) Kitamura
キクバヤマボクチ

(Monocotyledoneae 単子葉植物)

• Liliaceae ユリ科 •

Chionographis japonica Maxim. シライトソウ
Disporum sessile Don ホウチャクソウ
D. smilacinum A. Gray チゴユリ
Heloniopsis orientalis (Thunb.) C. Tanaka
ショウジョウバカマ
Lilium japonicum Thunb. ex Houttuyn
ササユリ
Liriope muscari (Decne.) Bailey
ヤブラン 22708
Paris tetraphylla A. Gray
ツクバネソウ 21824
Polygonatum lasianthum Maxim.
ミヤマナルコユリ 21823
Smilax china L. サルトリイバラ
Tricyrtis affinis Makino ヤマジノホトトギス
Trillium smallii Maxim. エンレイソウ 19885
Veratrum maackii var. japonicum (Baker) T.
Shimizu オオシュロソウ 21072

• Amaryllidaceae ヒガンバナ科 •

Lycoris radiata Herb. ヒガンバナ

• Dioscoreaceae ヤマノイモ科 •

Dioscorea gracillima Miq. タチドコロ
D. japonica Thunb. ヤマノイモ
D. quinqueloba Thunb. カエデドコロ

• Iridaceae アヤメ科 •

Iris japonica Thunb. シヤガ

• Juncaceae イグサ科 •

Juncus effusus var. *decipiens* Buchen. イ

• Commelinaceae ツユクサ科 •

Commelina communis L. ツユクサ

• Gramineae イネ科 •

Agrostis alba L. コヌカグサ 22707

A. clavata var. *nukabo* Ohwi ヌカボ

Calamagrostis arundinacea (L.) Roth
ノガリヤス

Microstegium japonicum (Miq.) Koidz.
ササガヤ

M. vimineum var. *polystachyum* (Fr. et Sar.)
Ohwi アシボン

Miscanthus sinensis L. ススキ

Oplismenus undulatifolius (And.) Roem. et Sch-
ult. ケチヂミザサ

Panicum bisulcatum Thunb. ヌカキビ

Phyllostachys bambusoides Sieb. et Zucc.
マダケ

P. heterocyclus (Carr.) Mitf.
モウソウチク (植栽)

P. nigra var. *henonis* (Bean) Stapf
ハチク

Pleuroblastus argenteostriatus (Regel) Nakai
ゴキダケ 21087, 21088

Pennisetum alopecuroides (L.) Spreng.
チカラシバ

Sasa veitchii var. *hirsuta* (Koidz.) S. Suzu-
ki チュウゴクザサ 22709

• Araceae サトイモ科 •

Acorus gramineus Soland セキショウ 21817

Arisaema serratum (Thunb.) Schott
マムシグサ 21818, 21819, 21820

A. yamatense (Nakai) Nakai
ムロウテンナンショウ 21821

• Cyperaceae カヤツリグサ科 •

Carex blepharicarpa Franch.
ショウジョウスゲ 19886

C. daisenensis Nakai ダイセンスゲ 18887

C. lenta D. Don ナキリスゲ

C. dolichostachya var. *glaberrima* (Ohwi)
T. Koyama ミヤマカンスゲ

C. pachygyna Fr. et Sav. ササノハスゲ

C. siderosticta Hance タガネソウ

Fimbristylis subbispicata Nees et Mey.
ヤマイ

• Zingiberaceae ショウガ科 •

Zingiber mioga (Thunb.) Roscoe ミョウガ

• Orchidaceae ラン科 •

Cephalanthera falcata (Thunb.) Bl.
キンラン 21822

Cymbidium goeringii Reichb. f. シュンラン

Platanthera minor (Miq.) Reichb. f.
オオバノトンボソウ

Spiranthes sinensis var. *amoena* (M. Bieb.)
Hara ネジバナ

Tipularia japonica Matsum.
ヒトツボクロ 19884

ここに記録した種の多くは乾燥標本（おしば標本）として亀岡市にある大本花明山植物園の標本庫に保存されている。そして重複品は久美浜町立標本館、京都大学理学部植物学教室の標本庫、国立科学博物館その他にも送られている。短期間で全ての種を標本として残すことはできなかったが、今後地元の協力者の努力によって、ぜひ町立久美浜標本館に完全に残されるよう希望する。

環境と共に保護に留意すべき植物

1. タジマタムラソウ *Salvia omerocalyx* Hayata (第1図, 第2図)

近畿地方北部（丹後・但馬）にのみ産する種で、全国的に見ても分布の極めて限られた珍種であるばかりでなく、日本産のアキノタムラソウ属の中でもかなり類縁のかけはなれたものである。陽地性の植物で、該当地域にもかなり産する。岩場や痩せ地であり樹木が茂らない林縁や道端などに多く、今すぐ絶滅が心配されるような状態ではない。此の種は株を分けて植栽するとよく成育して花をつけるので、トウテイランなどと共に、ポットや石で囲んだ花壇状のコーナーなどに人工的に増やして植栽するのも良い。

2. ヒロハハナヤスリ *Ophioglossum vulgatum* L. (田川, 1959: 8-45)

前種と対照的に本州の東北地方南部から四国、九州、中国から世界の熱帯、亜熱帯に広く分布するが、その産地はごく限られた処だけで、京都府下では今まで知られているのは田辺町の甘南備山（竹内：京都府植物誌による）だけである。ここではモウソウチクの竹林の道端に1ヶ所だけ見られる。これは移植したり、道を拡張して生育地をけずり取ったりしないよう、生育環境をそのまま、竹林の手入れもおこたらぬようにして保存に留意する必要がある。植栽は困難である。

3. ツクバネソウ *Paris tetraphylla* A. Gray

日本の特産種で北海道、本州、四国、九州に分布する。温帯の林下に生育する種で、本州中部以北ではそれほど珍しい植物ではないが、関西以西では産地も限られ個体数も少ない。京都府下でも現在生育している処は極めて少なくなっているのではないかと思われる。今回の調査でも、シイの大木が残っているところに行く道端でただ一ヶ所見られただけである。（保育社・原色植物図鑑単子葉 26 pl.）

4. オオシュロソウ（シュロソウ） *Veratrum maackii* Regel var. *japonicum* (Baker) T. Shimizu

シュロソウと呼ばれる植物は、変異が多く、形の大小のみならず、花の黒紫色のものから淡緑色のものまである。高山や亜高山の草地には普通に産し、シベリア東部から日本全体に広い分布範囲を持っているが、山陰地方では低地にあちこちに極処的に見られる。産地が互いに隔離されているため、丹後地方では淡緑色の花をつける株は見られない。分類学的にも本によって学名の取扱がいろいろ異なっているように、諸説があって分類群の認識がむづかしい。京都府下では南部には全く見られない。山内付近には所々に生育しているが、北の地方の高い産地にあるものが、西日本の日本海側ではどういう理由でこんな低地に産するのか、はなはだ珍しい現象であって、その理由はまだ充分にわかっていない。（保育社・原色植物図鑑単子葉 42 pl.）

5. スタジイの大木（第5図, 第6図）

古宮と称するかつて神社があったという所であり、高さ約17m、胸高幹周693cmという老木である。府下では弥栄町に胸高幹周790cmのものが知られているが、少なくとも久美浜町では最大のものではないだろうか（村田・津軽, 1995）。果実は比較

的長くてスタジイに属すると考えられる。大正の初めの頃大火があって離村した山内の集落の歴史と共に、この木のある付近の環境は大切に保存すべきである。

造成地周辺の緑化について

今日各地の道路や造成地の山腹を切り取った法面およびもり土をした斜面の緑化については、いろいろな工法が行われているが、植物相や植物生態学的な面からの検討がほとんどなされておらず、また土質や岩質その他に対する配慮にもかなり問題がある。特に切り取った深土や岩の出た斜面は、そのまま植物が生える土壌ではない。

このように大面積の法面が出現しているところでは、全面一様に一業者に入札せず、複数の業者に、それぞれ各種の現在行われている方法で場所を区切って、施工方法と業者名を明記し、住宅の展示場のように、緑化の工法と緑化に用いた植物種子を記した解説板を立てて実際にどの工法が最も適しているかを比較表示できるようにするのも一つの方法ではないだろうか。緑化工事が行われた後の結果がどうなるのか、その試験研究に相当する結果が日本ではまだ実際に明らかにされていないのが現状である。タニウツギ、ヤマツツジ、ツクシハギなどの現地野生種の利用も考慮すべきである。

地学調査の提言

建物を建設するためにけずりとられた法面はかなりの面積に及んでいて、その一部には見事な地質構造を示す地下の断面が現れている。

久美浜町誌第三章には弘海原清氏による「久美浜町付近の地質と地史」と題したくわしい解説がある。その第一図を見ると、豊岡累層としてまとめられる甲山流紋岩火山岩層の上にこのあたりでは日和田砂岩礫層があり、久美浜湾の東側の地で

認められている網野累層の下部が欠如し、凝灰岩層が乗っていることになっている(22～23頁参照)。そのあたりの断面がここによく現れていて、淡褐色の土層のところには竹林があり、赤褐色の粘質の土層には竹林がなく、下には黒い溶結凝灰岩らしき岩体がうまっているが、淡褐色の土層との接点のあたりでは楕円状の転石となって、表面が鉄さびによって鞍馬石様に茶褐色に天然コーティングされている。その石が集められて谷ぞいの水を流す溝が作られている(10-12図)。これは溶岩流の末端に見られる珍しい現象かも知れず、上に見られる植生との関係も、緑化工事によって露頭が被われない中に確かめたい。この石を用いた溝は、石の成因がわかれば貴重な存在となる可能性がある。表層地質の専門家による調査を提言したい。

おわりに

今回の植物調査では地下の山腹断面を見ることができたので、植物相や植生の現状が、表層地質の風化にともなう地下の土質や構造と大きく関係があることがわかった。

調査の機会を与えられ、常に調査に同行して協力いただいた西山茂雄教育長に厚く感謝の意を表す。また教育次長補佐西佳文氏、企画室長補佐岡田良一氏には現地の案内その他大変お世話になった。

平成8年3月

調査者 京都府植物相研究会

(代表) 村田 源

西沢信一

津軽俊介

高木俊夫

田中 徹

西山茂雄

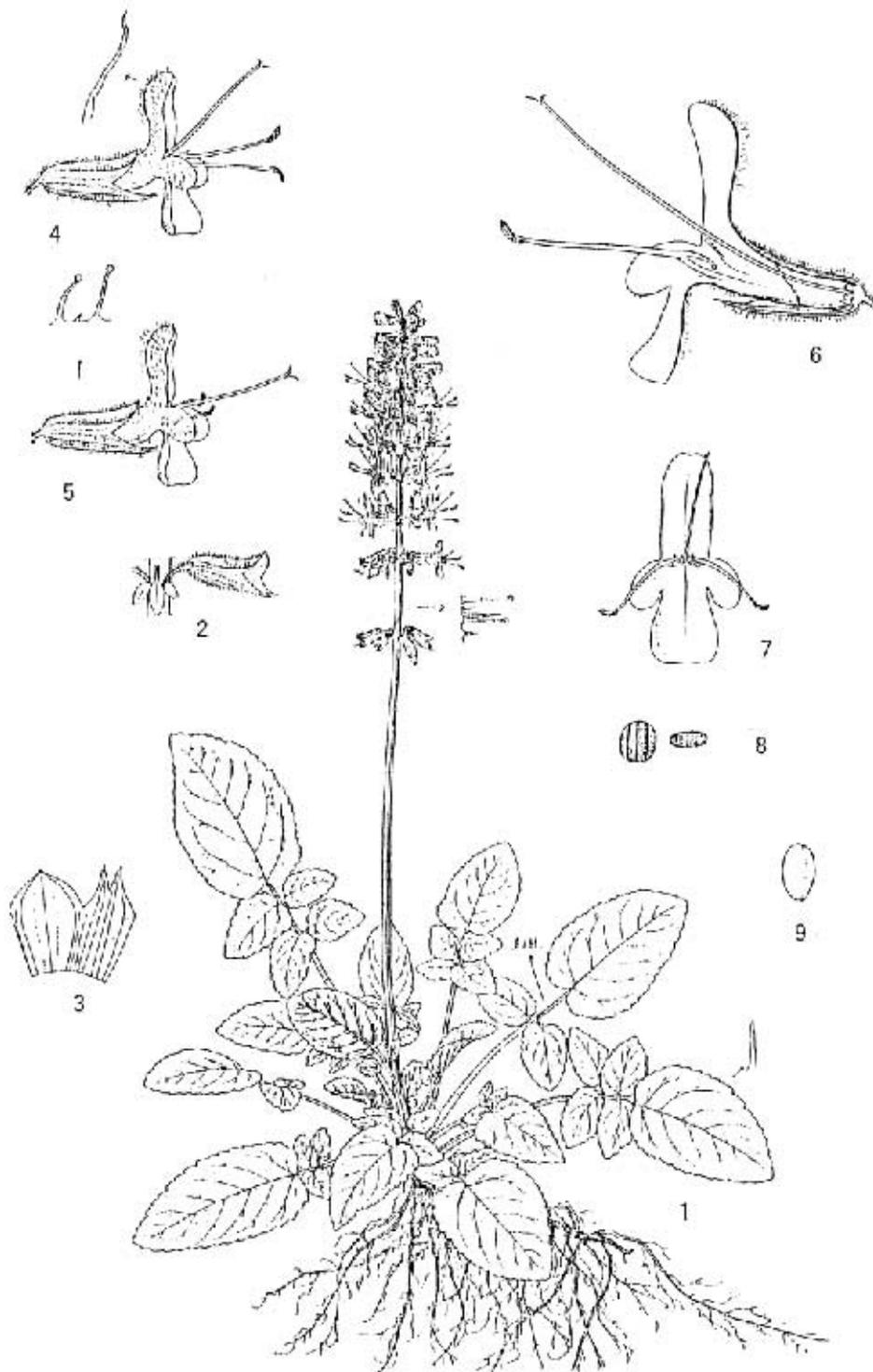
富川惇志

(調査協力者)

高橋 隆

(調査補助者)

甲斐真弓



第1図 タジマタムラソウ *Salvia omerocalyx* Hayata

1. 全形, 2. がくと花のつき方, 3. がくの展開, 4. 花 (雄しべの長い花、普通この形が多い),
 5. 花 (雄しべの短い花、株によって時々この形の花をつけるものがある), 6. 花の縦断面, 7. 花
 の正面観, 8. 花粉, 9. 分果 (村田原図)



第2図 タジマタムラソウの分布図（世界中でここだけにしかない珍しい植物）

● タジマタムラソウ ★ ハイタムラソウ（茎が横に這う変種）



第3図 うす暗い常緑樹林の林床に生え葉緑素を持たないギンリョウソウ。
(1995. 5. 17. 津軽俊介撮影)



第4図 若い実をつけたカクレミノ。(若い木の葉は3裂する)
(1995. 9. 21. 津軽俊介撮影)



第5図 スダジイの大木。高さ約17m、胸高幹周6.93mあり、山内の歴史を示している。
(1995. 5. 17. 津軽俊介撮影)



第6図 同上、反対側面、おそらく久美浜町最大のスダジイであろう。
(1995. 5. 17. 津軽俊介撮影)



第7図 山内集落跡から造成地に集められた鳥居等の古い神社の石材。
(1995. 9. 21. 村田 源撮影)



第8図 鳥居の石柱には明治30年丁酉3月再建の字がきざまれている。
(1995. 9. 21. 村田 源撮影)



第9図 谷ぞいにある竹藪。

(1995. 9. 21. 村田 源撮影)



第10図 モウソウチクの地下茎と掘り出された火山岩。

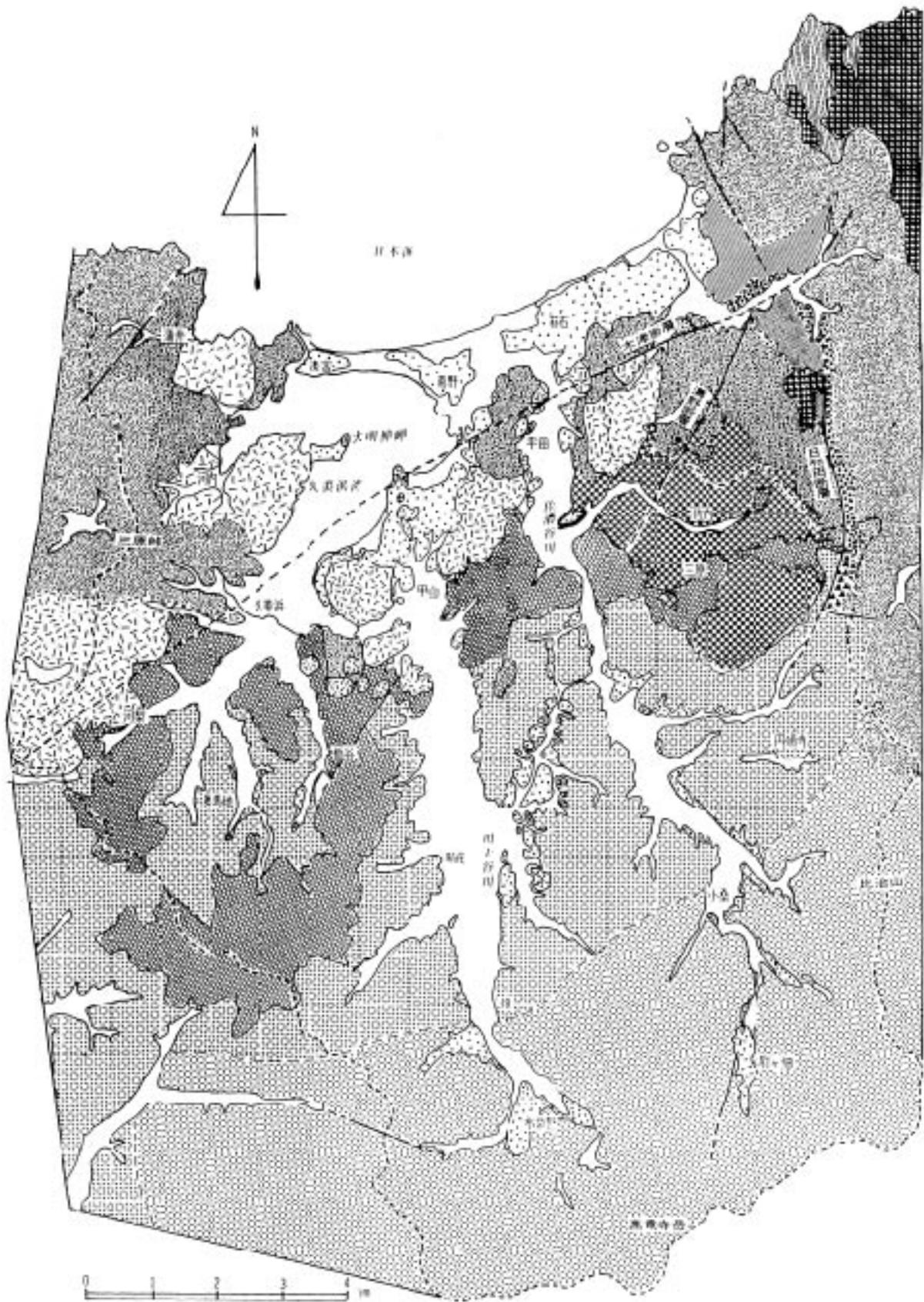
(1995. 9. 21. 村田 源撮影)



第11図 造成によって地下から掘り出された岩体、このような形の岩が竹藪のある付近の地下に点在している。 (1995. 9. 21. 村田 源撮影)

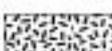


第12図 表面鉄サビでコーティングされた安山岩質の火山岩を用いて作られた排水溝。 (1995. 9. 21. 村田 源撮影)



第13図 久美浜町の地質（久美浜町誌より）

第13図の凡例と地質層序区分表

| | | | | | |
|------------------|------|--|---|---|---|
| 第四期 | 沖積層 | | 可川堆積物、現砂丘 |  | |
| | 段丘層 | | 可岸段丘、海岸段丘、旧砂丘 |  | |
| 新生代 (新第三期中新世) | 北但層群 | 戸後累層 |  | | |
| | | | 磯安山岩質火山岩層 |  | |
| | | 網野累層 | 五色焙岩頂丘 |  | |
| | | | | 五色流紋岩質凝灰角礫岩層 |  |
| | | | 夕日安山岩質火山礫凝灰岩層 |  | |
| | | | 切畑石美安山岩質熔結凝灰岩層 | | |
| | | | 新庄凝灰岩層 | | |
| | | | 比治山混成凝灰岩層 | | |
| | | | 上野頁岩・砂岩・凝灰岩層 | |  |
| | | 木津礫岩層 |  | | |
| | | 有田凝灰岩層 | | 長野角礫岩 | |
| | | 豊岡累層 | 岡田頁岩層 |  | |
| | | | 日和田砂岩礫岩層 |  | |
| | | | 甲山流紋岩火山岩層 |  | |
| | | | 佐内礫岩層 |  | |
| | | 養父亜層群 | 八鹿累層 | 筋谷安山岩質凝灰岩層 |  |
| | | | | 一條寺玄武岩質安山岩火山岩層 | |
| | 高柳累層 |  | | | |
| 中生代 | 基盤岩類 | | 花崗岩類 | 等粒状黒雲母花崗岩 |  |
| | | | | 斑状黒雲母花崗岩 |  |

(久美浜町誌より)

文 献

(久美浜海岸砂丘の植物－京都府久美浜町植物調査報告第1集－に載せたものはぶく)

- 岩槻邦雄, 1992: 「日本の野生植物シダ」 311pp. +176pl. 平凡社。
- 植村善博, 1995: リアス式海岸と活断層 若狭湾と丹後半島, 大島・藤田・鎮西編: 「日本の自然 地域編5 近畿」 139-146, 岩波書店。
- 京都府編, 1991: 京都の自然 200選(植物部門)38pp. 京都府保健環境部環境対策室。
- 佐竹義輔他編, 1987: 「日本の野生植物木本 I」, 321pp. +300pl., 「II」, 305pp. +288pl. 平凡社。
- 鮫島惇一郎, 1977: ツクバネソウ, 週間朝日百科 世界の植物101(Vol. 9): 2370. 朝日新聞社。
- 田川基二, 1959: 「原色日本羊歯植物図鑑」, 270pp. +72pl. 保育社。
- 倉田悟・中池敏之, 1979-1998: 「日本のシダ植物図鑑」 I-VIII, 東京大学出版会。
- Hayata, B., 1919: *Salvia omelocalyx* in *Icones Pl. Formos.* 8: 100.
- 村田 源, 1952: 日本および台湾産アキノタムラソウ亜属, 植物分類地理 29: 129-130.
- 村田 源, 1960: 近畿地方植物誌6, 兵庫生物4(1): 32.
- 村田 源, 1995: 近畿地方に分布する注目すべき植物, 山本編: 「兵庫県浜坂町自然の現況」 11-15.
- 村田 源他, 1996: 「山陰海岸国立公園 久美浜海岸砂丘の植物」 89pp. + 8 pl. 久美浜町教育委員会。
- 村田 源・津軽俊介, 1995: 京都府の老木の記録2, 京都植物 22巻4号: 12-16.

あ と が き

この冊子は京都府の身近かな自然環境保全推進事業の一環として、「緑と文化の基金」の補助を受けて「久美浜町の貴重な海浜・山地性植物生態調査」を実施した時の調査報告書に更に手を加えて、該当地の自然のすばらしさを、一般町民の方々はもとより、行政当局にも改めて御理解と認識を深めていただくために編集したものである。

トウテイランは海岸近くに生え、京都府の丹後海岸から島根県の隠岐島までの間にだけ野生している世界でも珍しい植物であり、「久美浜海岸砂丘の植物」でとり上げた。

今回山内付近で見つかったタジマタムラソウは、それより更に分布が狭く、世界中で島根県(岩美郡)、兵庫県(美方郡、城崎郡、養父郡)、京都府(竹野郡、中郡、与謝郡)だけにしか知られていなかった植物で、今回久美浜町でも見つかったのは熊野郡での初めての記録である。半日陰の山道の縁や岩上にあり、産地ではかなり個体数も多く、今すぐ絶滅するとは思えないが、分布は極めて狭い範囲に限られ、日本のどこにでも見られるアキノタムラソウの仲間では系統上からも最もかけはなれた存在である。

こうした世界でも珍しい野生植物が、地元の人達にも知られないまま、開発や植林、道路の拡幅工事などによって消されて行くことはまことに残念である。

幸、これらの種は陽地性で比較的栽培も可能であり、株分けや種子を蒔いて実生を育てることによっても増やすことが出来る。花も美しいので、世界に誇る久美浜町の野草として、山内に新しく建てられる建物や道路の周辺に栽培して、これらの植物の認知の普及と増殖につとめていただきたい。

特異な分布を示す野生植物がここにあるということは、何を意味しているのか今はまだわからない。しかし関連する分野の科学的研究が進めばこれらの植物の分布の示す意味の解釈が可能になるであろうし、また大変重大な傍証となる場合も有り得る。

地下にある岩質の性質による風化状態の差異や、それから由来する土壌の性質のちがいが、その上にある植生や植物相のちがいとなっている場合が多い。今回のように狭い範囲を対象にすれば、気温や雨量、植生帯も同じであるのに、場所によって生えている植物が異なるのは地下の立地環境が植物相や植生のちがいとなって現れているのである。現代の植物相や植生のちがいには、人間の影響がその上に大きく働いている。

自然の保全は自然を良く知ることから始まると言われるが、この冊子が野生植物への関心と環境への知識を深めることに役立ち、多少なりとも自然保護の思想の高揚に役立てば、調査関係者一同にとっても望外の喜びである。

平成9年3月

京都府植物相研究会

代表 村 田 源

属名索引

A

| | |
|--------------|----|
| Abies | 4 |
| Acanthopanax | 8 |
| Acer | 7 |
| Achyranthes | 5 |
| Acerus | 12 |
| Actinidia | 6 |
| Agmonia | 6 |
| Agrostis | 12 |
| Ajuga | 10 |
| Akshia | 6 |
| Albizia | 7 |
| Aleurites | 7 |
| Alnus | 4 |
| Angelopsis | 8 |
| Anenorum | 5 |
| Apios | 7 |
| Arachniodes | 3 |
| Aralia | 8 |
| Ardisia | 9 |
| Arsaemi | 12 |
| Artemisia | 11 |
| Axer | 11 |
| Asilbe | 6 |
| Atkyrium | 3 |
| Aucuba | 8 |

B

| | |
|-------------|----|
| Bacopa | 11 |
| Bolmeria | 5 |
| Breussoneta | 4 |

C

| | |
|---------------|----|
| Catalia | 11 |
| Calamagrostis | 12 |
| Callicarpa | 9 |
| Camellia | 6 |
| Carex | 12 |
| Carpesium | 11 |
| Carpinus | 4 |
| Castanea | 4 |
| Castanopsis | 4 |
| Celtis | 4 |
| Cephalanthera | 12 |
| Cephalotaxus | 4 |
| Chamaecyparis | 4 |

| | |
|----------------|----|
| Chionographis | 11 |
| Cinnamomum | 5 |
| Cimicifuga | 5 |
| Circaea | 8 |
| Cirsium | 11 |
| Clematis | 5 |
| Clerodendrum | 9 |
| Clethra | 9 |
| Cocculus | 6 |
| Codonopsis | 11 |
| Commelina | 12 |
| Coniogramme | 3 |
| Conyza | 11 |
| Coptis | 5 |
| Cornus | 8 |
| Crassocephalum | 11 |
| Cryptotaenia | 9 |
| Cryptomeria | 4 |
| Cymbidium | 12 |
| Cyrtomium | 3 |

D

| | |
|---------------|----|
| Dendropanax | 8 |
| Dendrotaedtia | 3 |
| Deutzia | 6 |
| Dioscorea | 11 |
| Diospyros | 9 |
| Diplazium | 3 |
| Disporum | 11 |
| Drosera | 6 |
| Dryopteris | 3 |
| Duchesnea | 6 |
| Dumasia | 7 |

F

| | |
|-------------|----|
| Edgeworthia | 8 |
| Elaeagnus | 8 |
| Elatostema | 5 |
| Epimedium | 6 |
| Equisetum | 2 |
| Erechtites | 11 |
| Eurya | 6 |
| Euonymus | 7 |
| Eupatorium | 11 |
| Euscaphis | 8 |
| Evodiopanax | 8 |

| | | | |
|----------------|-------|----|--|
| F | | | |
| Ficus | | 5 | |
| Finbristylis | | 12 | |
| G | | | |
| Galium | | 9 | |
| Glechoma | | 10 | |
| Gleichenia | | 3 | |
| Geum | | 6 | |
| Gynostemma | | 8 | |
| H | | | |
| Hedera | | 8 | |
| Hedyotis | | 9 | |
| Heloniopsis | | 11 | |
| Herwingia | | 8 | |
| Hepatica | | 5 | |
| Heterotropa | | 6 | |
| Hostuynia | | 6 | |
| Hovenia | | 8 | |
| Hydrangia | | 6 | |
| Hydrocotyle | | 9 | |
| I | | | |
| Ilex | | 7 | |
| Illicium | | 5 | |
| Iris | | 12 | |
| Ixeris | | 11 | |
| J | | | |
| Juncus | | 12 | |
| Jussiaea | | 10 | |
| K | | | |
| Kadsura | | 5 | |
| Kummerowia | | 7 | |
| L | | | |
| Lactuca | | 11 | |
| Lemnaphyllum | | 4 | |
| Lepisorus | | 4 | |
| Lespedeza | | 7 | |
| Lilium | | 11 | |
| Lindera | | 5 | |
| Liriope | | 11 | |
| Loaicera | | 10 | |
| Lycoris | | 11 | |
| Lysia | | 9 | |
| Lysimachia | | 9 | |
| M | | | |
| Maackia | | 7 | |
| Machilus | | 5 | |
| Magnolia | | 5 | |
| Mazus | | 10 | |
| Mallotus | | 7 | |
| Meliosma | | 7 | |
| Melochria | | 8 | |
| Microlepia | | 3 | |
| Microstegium | | 12 | |
| Mitchella | | 9 | |
| Monotropastrum | | 9 | |
| Monotropa | | 9 | |
| Mosla | | 10 | |
| Morits | | 5 | |
| Myrica | | 4 | |
| N | | | |
| Neolitsea | | 5 | |
| O | | | |
| Ompalodes | | 9 | |
| Onoclea | | 4 | |
| Onychium | | 3 | |
| Ophiglossum | | 3 | |
| Oplismenus | | 12 | |
| Osmunda | | 3 | |
| Oxalis | | 7 | |
| P | | | |
| Paederia | | 9 | |
| Panicum | | 12 | |
| Paris | | 11 | |
| Parthenocissus | | 8 | |
| Patrinia | | 10 | |
| Paulownia | | 10 | |
| Pennisetum | | 12 | |
| Perilla | | 10 | |
| Persicaria | | 5 | |
| Pectea | | 11 | |
| Petasites | | 11 | |
| Phryma | | 10 | |
| Phyllostachys | | 12 | |
| Phytolacca | | 5 | |
| Picrosma | | 7 | |
| Pieris | | 9 | |
| Pilea | | 5 | |
| Pinus | | 4 | |
| Plantago | | 10 | |
| Platanthera | | 12 | |
| Pleioblastus | | 12 | |
| Polygonatum | | 11 | |
| Polystichum | | 3 | |
| Pourthiaea | | 6 | |

| | |
|----------------|----|
| Prunella | 10 |
| Prunus | 6 |
| Pteridium | 3 |
| Pteris | 3 |
| Pueraria | 7 |
| Q | |
| Quercus | 4 |
| R | |
| Raddosia | 10 |
| Ranunculus | 6 |
| Reynoutria | 5 |
| Rhododendron | 9 |
| Rhus | 7 |
| Rosa | 6 |
| Rubia | 9 |
| Rubus | 6 |
| Rumex | 5 |
| S | |
| Salix | 4 |
| Salvia | 10 |
| Sanicula | 9 |
| Sasa | 12 |
| Saururus | 6 |
| Setoand'ra | 5 |
| Schizocodon | 9 |
| Schizophragma | 6 |
| Scutellaria | 10 |
| Selaginella | 2 |
| Siegesbeckia | 11 |
| Skimmia | 7 |
| Smilax | 11 |
| Solanum | 10 |
| Sorbus | 7 |
| Spiranthes | 12 |
| Stachyurus | 8 |
| Stegogramma | 3 |
| Struthiopteris | 3 |
| Stylax | 9 |
| Stellaria | 5 |
| Stantonia | 6 |
| Gyneria | 11 |
| T | |
| Teacrium | 10 |
| Thalictrum | 6 |
| Thelypteris | 3 |
| Tipularia | 12 |
| Torrea | 4 |

| | |
|-----------------|----|
| Trachelospermum | 9 |
| Trickosanthes | 8 |
| Tricyrtis | 11 |
| Tritium | 11 |
| Tripurospermum | 9 |
| Tubocapsicum | 10 |
| V | |
| Valeriana | 10 |
| Veratrum | 11 |
| Veronica | 10 |
| Viburnum | 10 |
| Viola | 8 |
| Vitis | 8 |
| W | |
| Weigela | 10 |
| Wisteria | 7 |
| Z | |
| Zanthoxylum | 7 |
| Zelkova | 4 |
| Zingiber | 12 |

和 名 索 引

ア

| | |
|------------|----|
| アキ | 8 |
| アヅマフジ | 6 |
| アオミズ | 5 |
| アカネ | 9 |
| アカネ科 | 9 |
| アコシア | 4 |
| アコショウ | 6 |
| アカバナ科 | 8 |
| アカマツ | 4 |
| アカメガシワ | 7 |
| アキカラマツ | 6 |
| アキオウゴン | 10 |
| アキノギンリョウソク | 9 |
| アキノノゲシ | 11 |
| アケビ | 6 |
| アケビ科 | 6 |
| アシボソ | 13 |
| アヒ | 9 |
| アズキナシ | 7 |
| アヅミカンアオイ | 6 |
| アブラギリ | 7 |
| アベマキ | 4 |
| アマチャヅル | 8 |
| アメリカセンダングサ | 11 |
| アヤメ科 | 12 |
| アラカシ | 4 |
| アワブキ | 7 |
| アワブキ科 | 7 |

イ

| | |
|---------|----|
| イ | 12 |
| イブサ科 | 12 |
| イタドリ | 5 |
| イタビカズラ | 5 |
| イイイ科 | 4 |
| イチヤクソウ | 9 |
| イヌガヤ | 4 |
| イヌコウジュ | 10 |
| イヌガンソク | 4 |
| イヌザンショウ | 7 |
| イヌシダ | 4 |
| イヌシダ | 3 |
| イヌショウマ | 5 |
| イヌタデ | 5 |

| | |
|----------|----|
| イヌツゲ | 7 |
| イヌワラビ | 3 |
| イネ科 | 12 |
| イノコヅチ | 5 |
| イノデ | 3 |
| イノネトソウ科 | 3 |
| イラクサ科 | 5 |
| イロハモミジ | 7 |
| イワウメ科 | 9 |
| イワガラミ | 6 |
| イワヒバ科 | 2 |
| イワガネゼンマイ | 3 |

ウ

| | |
|------------|----|
| ウコギ科 | 8 |
| ウシハコベ | 5 |
| ウツギ | 6 |
| ウツボグサ | 10 |
| ウド | 8 |
| ウマノスズクサ科 | 6 |
| ウマノミツバ | 9 |
| ウラギンツルグミ | 8 |
| ウラジロ | 3 |
| ウラジロ科 | 3 |
| ウラジロガシ | 4 |
| ウツジノキ | 7 |
| ウラボシ科 | 4 |
| ウラボシノコギリシダ | 3 |
| ウリ科 | 8 |
| ウリカエデ | 7 |
| ウリハダカエデ | 7 |
| ウルシ科 | 7 |
| ウワバミソウ | 5 |
| ウワミズザクラ | 6 |

エ

| | |
|---------|----|
| エゴノキ | 9 |
| エゴノキ科 | 9 |
| エゾアジサイ | 6 |
| エゾノギシギシ | 5 |
| エノキ | 4 |
| エンレイソウ | 11 |

オ

| | |
|----------|----|
| オオアレチノギク | 11 |
| オオイヌタデ | 5 |
| オオイヌノフグリ | 10 |

| | |
|------------|--------|
| オオイワカガミ | 9 |
| オオシロソウ | 11, 13 |
| オオタチツボスミレ | 8 |
| オオナドメ | 9 |
| オオバコ | 10 |
| オオバコ科 | 10 |
| オオバナニガナ | 11 |
| オオバノトンボソウ | 12 |
| オオバナハナゾウソウ | 3 |
| オオモミジ | 7 |
| オオトラノオ | 9 |
| オシダ科 | 3 |
| オトコエシ | 10 |
| オトコブドウ | 8 |
| オハラメアザミ | 11 |
| オミナエシ科 | 10 |

カ

| | |
|-----------|----|
| カエデ科 | 7 |
| カエデコロ | 11 |
| カガノアザミ | 11 |
| カキドオシ | 10 |
| カキノキ科 | 9 |
| カクレミノ | 8 |
| カタバミ | 7 |
| カタバミ科 | 7 |
| カバノキ | 4 |
| カスミザクラ | 6 |
| カマツカ | 6 |
| カヤツリグサ科 | 12 |
| カククサイヌワラビ | 3 |
| カウムザンショウ | 7 |
| カラムシ | 5 |
| ガマズミ | 10 |

キ

| | |
|----------|----|
| キカラスウリ | 8 |
| キキョウ科 | 11 |
| キク科 | 11 |
| キクムグラ | 9 |
| キクバヤマボタチ | 11 |
| キツネノボタン | 6 |
| キツネノマゴ | 10 |
| キツネノマゴ科 | 10 |
| キブタ | 8 |
| キブシ | 8 |
| キブシ科 | 8 |
| キウチクトウ科 | 9 |
| キラシソウ | 10 |

| | |
|----------|----|
| キリ | 10 |
| キンキマメザクラ | 6 |
| キンボウグ | 5 |
| キンミズヒキ | 6 |
| キンラン | 12 |
| ギンリョウソウ | 9 |

ク

| | |
|-----------|----|
| クサイチゴ | 6 |
| クサギ | 9 |
| クサマオ | 5 |
| クスノキ科 | 5 |
| クズ | 7 |
| クマシデ | 4 |
| クマツヅク科 | 9 |
| クマノミズキ | 8 |
| クリ | 4 |
| クラマゴケ | 2 |
| クロウメモドキ科 | 8 |
| クロバナヒキオコシ | 10 |
| クロモジ | 5 |
| グミ科 | 8 |
| クワ科 | 4 |

ケ

| | |
|----------|----|
| ケケンボナシ | 8 |
| ケチヂミザサ | 12 |
| ケオンヤブアマリ | 10 |
| ケヤキ | 4 |

コ

| | |
|-----------|----|
| コシアブラ | 8 |
| コナスピ | 9 |
| コオウ | 4 |
| コヌカグサ | 12 |
| コハコベ | 5 |
| コバノイシカグマ科 | 3 |
| コバノガマズミ | 10 |
| コバノクツナミ | 10 |
| コマユミ | 7 |
| ゴキダケ | 12 |
| ゴマノハグサ科 | 10 |
| ゴズイ | 8 |

サ

| | |
|------------|----|
| サイコクキツネヤナギ | 4 |
| サカゲイノデ | 3 |
| サギゴケ | 10 |
| ササガヤ | 12 |
| ササノハスダ | 12 |
| ササユリ | 11 |

| | | | |
|-----------|--------|----------|--------|
| サジガンツヒソウ | 11 | タチノヌノフグリ | 10 |
| サネカズラ | 5 | タチツボスミレ | 8 |
| サルトリイバラ | 11 | タチドコロ | 11 |
| サルナシ | 6 | タツノミソウ | 10 |
| サンインヒキオコシ | 10 | タデ科 | 5 |
| シ | | タニノスリフビ | 3 |
| シシガシラ | 3 | タニワツギ | 10 |
| シシガシラ科 | 3 | タブノキ | 5 |
| シキミ | 5 | タマバシロヨメナ | 11 |
| シキミ科 | 5 | タラノキ | 3 |
| シツ科 | 10 | ダイコンソウ | 3 |
| シライトソウ | 11 | ダイセンソウ | 12 |
| シラゲヒメジソ | 10 | ダンドボロギク | 11 |
| シラヤマギク | 11 | チ | |
| シロダモ | 5 | チカラシバ | 12 |
| シヤガ | 12 | チゴユリ | 11 |
| ショウガ科 | 12 | チャ | 5 |
| ショウジョウスゲ | 12 | チャボガヤ | 4 |
| ショウジョウバカマ | 11 | チュウゴクザサ | 12 |
| シュンラン | 12 | ツ | |
| ジュウモンジシダ | 3 | ツクシハギ | 7 |
| ジンチョウゲ科 | 8 | ツクバネソウ | 11, 13 |
| ス | | ツズラフジ科 | 5 |
| スイカズラ | 10 | ツタ | 3 |
| スイカズラ科 | 10 | ツタウルシ | 7 |
| スイバ | 5 | ツツジ科 | 9 |
| スギ | 4 | ツバキ | 5 |
| スギ科 | 4 | ツバキ科 | 5 |
| スギナ | 2 | ツボスミレ | 8 |
| ススキ | 12 | ツルグミ | 8 |
| スズメウリ | 8 | ツルアリドオシ | 3 |
| スダジイ | 4, 13 | ツルコノコソウ | 10 |
| スミレ科 | 8 | ツルニガクサ | 10 |
| スミレサイシン | 8 | ツルニンジン | 1 |
| セ | | ツルリンドウ | 9 |
| セキショウ | 12 | ツユクサ | 2 |
| セリ科 | 9 | ツユクサ科 | 2 |
| セリバイウレシ | 5 | テ | |
| センニンソウ | 5 | テイカカズラ | 9 |
| ゼンマイ | 3 | ト | |
| ゼンマイ科 | 3 | トウダイグサ科 | 7 |
| ソ | | トキワイカリソウ | 6 |
| ソコゴ | 7 | トクナ科 | 3 |
| タ | | トリアシショウマ | 6 |
| タダネソウ | 12 | トキワハゼ | 10 |
| タジマタムラソウ | 10, 13 | トクダミ科 | 6 |
| タチシノブ | 3 | | |

| | |
|-----------|----|
| ナ | |
| ナガハシスミレ | 8 |
| ナガバモミジイチゴ | 7 |
| ナカリスゲ | 12 |
| ナス科 | 10 |
| ナゲシコ科 | 3 |
| ナツカマド | 7 |
| ナラガシワ | 4 |
| ナワシログミ | 8 |
| ニ | |
| ニオイイチゴ | 7 |
| ニズキ科 | 7 |
| ニズキ | 7 |
| ニシキギ科 | 7 |
| ニレ科 | 4 |
| ヌ | |
| ヌカキビ | 12 |
| ヌカホ | 12 |
| ヌルデ | 7 |
| ネ | |
| ネジキ | 9 |
| ネジバナ | 12 |
| ネムノキ | 7 |
| ノ | |
| ノウゼンカズラ科 | 10 |
| ノギリヤス | 12 |
| ノネシノブ | 4 |
| ノムギク | 11 |
| ノキサゲ | 7 |
| ノブドウ | 8 |
| ハ | |
| ハウチワカエデ | 7 |
| ハイイヌガヤ | 4 |
| ハエドクソウ | 10 |
| ハエドクソウ科 | 10 |
| ハシカグサ | 9 |
| ハズノキ | 7 |
| ハダカホオズキ | 10 |
| ハチク | 12 |
| ハナイカダ | 8 |
| ハナヤスリ科 | 3 |
| ハネミイヌエンジュ | 7 |
| ハンゲショウ | 6 |
| ハンノキ | 4 |
| ハワ科 | 6 |
| ヒ | |
| ヒガンバナ | 11 |

| | |
|----------|-------|
| ヒガンバナ科 | 11 |
| ヒサカキ | 6 |
| ヒノキ | 4 |
| ヒノ科 | 4 |
| ヒトツボクロ | 12 |
| ヒメアイヤ | 8 |
| ヒメシダ科 | 3 |
| ヒメヤシヤブシ | 4 |
| ヒメキンミズヒメ | 6 |
| ヒメコウゾ | 5 |
| ヒメジツ | 10 |
| ヒメワラビ | 3 |
| ヒロハイスワラビ | 3 |
| ヒロハハナヤスリ | 3, 13 |
| ヒユ科 | 5 |
| ヒヨドリジョウゴ | 10 |
| ヒヨドリバナ | 11 |
| フ | |
| フキ | 11 |
| フジ | 7 |
| フモトシダ | 3 |
| フユイチゴ | 6 |
| フドウ科 | 8 |
| フナ科 | 4 |
| ヘ | |
| ヘクソカズラ | 9 |
| ヘビノネゴサ | 3 |
| ヘンダ | 3 |
| ベニバナボロギク | 11 |
| ホ | |
| ホウチャクソウ | 11 |
| ホオノキ | 5 |
| ホンバイメウフビ | 3 |
| ホソバタバ | 5 |
| ホドイモ | 7 |
| ボタンヅル | 5 |
| ボントクタデ | 5 |
| マ | |
| マタタビ科 | 6 |
| マダケ | 12 |
| マツ科 | 4 |
| マツブサ | 5 |
| マツブサ科 | 5 |
| マムシグサ | 12 |
| マメ科 | 7 |
| マメヅタ | 4 |

| | |
|-----------|----|
| ミ | |
| ミオン科 | 7 |
| ミスミソウ | 6 |
| ミズキ科 | 8 |
| ミズヒキ | 5 |
| ミステマンソウ | 8 |
| ミズウラボリ科 | 3 |
| ミゾシダ | 3 |
| ミゾソバ | 5 |
| ミツバ | 9 |
| ミツバアケビ | 6 |
| ミツバウツギ科 | 8 |
| ミツマタ | 8 |
| ミヤコイバラ | 6 |
| ミヤマカタバミ | 7 |
| ミヤマシキミ | 7 |
| ミヤマノコギリシダ | 3 |
| ミヤマフユイチゴ | 6 |
| ミヤマガマズミ | 10 |
| ミヤマナルコユリ | 11 |
| ミヤマカンスタ | 12 |
| ミヨウガ | 12 |

| | |
|------------|----|
| ム | |
| ムベ | 6 |
| ムラサキ科 | 9 |
| ムラサキシキブ | 9 |
| ムラサキニガナ | 11 |
| ムロウナンナンシヨウ | 12 |

| | |
|----------|----|
| メ | |
| メギ科 | 6 |
| メシダ科 | 3 |
| メダラ | 8 |
| メナセミ | 11 |
| メケブマオ | 5 |

| | |
|----------|----|
| モ | |
| モウセンゴケ科 | 6 |
| モウソウチク | 12 |
| モナレン科 | 5 |
| モチノキ | 7 |
| モチノキ科 | 7 |
| モミ | 4 |
| モミジガサ | 11 |

| | |
|----------|---|
| ヤ | |
| ヤブギ科 | 4 |
| ヤハスソウ | 7 |
| ヤブコウジ科 | 9 |
| ヤブソテツ | 3 |

| | |
|-----------|----|
| ヤブニッケイ | 5 |
| ヤブヘビイチゴ | 6 |
| ヤブムラサキ | 9 |
| ヤブラン | 11 |
| ヤマアジサイ | 6 |
| ヤマイ | 12 |
| ヤマイタチシダ | 3 |
| ヤマイスワラビ | 3 |
| ヤマケグイスカグラ | 10 |
| ヤマクルシ | 7 |
| ヤマギヤ | 9 |
| ヤマグワ | 5 |
| ヤマコウバシ | 5 |
| ヤマゴボウ | 5 |
| ヤマゴボウ科 | 5 |
| ヤマノホトトギス | 11 |
| ヤマソツジ | 9 |
| ヤマノイモ | 11 |
| ヤマノイモ科 | 11 |
| ヤマハゼ | 7 |
| ヤマハッカ | 10 |
| ヤマモモ | 4 |
| ヤマモモ科 | 4 |
| ヤマレリソウ | 9 |

| | |
|----------|----|
| ユ | |
| ユキノシタ科 | 6 |
| ユリ科 | 11 |

| | |
|----------|----|
| ヨ | |
| ヨモギ | 11 |

| | |
|----------|----|
| ラ | |
| ラン科 | 12 |

| | |
|----------|---|
| リ | |
| リョクノ科 | 9 |
| リョクメンシダ | 3 |
| リンドウ科 | 9 |

| | |
|----------|----|
| レ | |
| レモンエゴマ | 10 |

| | |
|----------|---|
| ワ | |
| ワラビ | 3 |

久美浜町「山内」付近の植物

(京都府久美浜町植物調査報告第2集)

発行日 平成16年10月15日
編集者 京都府植物相研究会
発行者 京丹後市教育委員会
京都府京丹後市大宮町口大野226
TEL. 0772 (69) 0610
印刷 清水印刷株式会社
京都府京丹後市峰山町丹波